

---

# 小鳥の夢

Rina

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

小鳥の夢

### 【Nコード】

N46850

### 【作者名】

Rina

### 【あらすじ】

弟を奪ったいじめ・・・

辛い過去・・・

狂った弟・・・

全てを乗り越えた・・・今

それは、私の弟がまだ、生きていた頃の話です。

私の弟は、誰からも好かれるいい子でした。

しかし、弟は・・・弟は、精神を病んで、自殺してしまいました・・・。

弟は、いじめにあっていました。

でも、誰にも話しませんでした。

私にはもちろん、両親にも・・・。

我慢に我慢を重ねた末、自殺してしまったのです・・・。

弟、8歳、小学校2年生　　。

いつも、私が学校から帰ると、弟は、泣いていた。

どうしたの？と声をかけてみた。

でも、弟は泣きじゃくっているばかり。

（またいじめられた。）弟はしゃくりあげながら一生懸命に訴えていた。

あの頃のいじめは、仲間はずれ・・・

子供のいじめはそれだけではすまなかった・・・。

やがて、弟も中学に上がった。

弟は、その頃から、自傷行為を繰り返すようになっていた。

怖かった。弟は、そのうちに、リストカットをして、吹き出る血液を見て笑うのだ。

高笑いにも聞こえるような、辛さと苦しみの笑い。

もう、誰も彼を止められなかった。

母と父も弟を怖がった。

そういえば、弟が狂ってしまったとき、私に反抗したのを鮮明に覚えてる。

弟は・・・私にカッターを向けて走ってきたのだ・・・。

しかし、私は不思議と、怖くはなかった。

私は、両手を広げて、弟を迎えた。

弟は、奇声を発したかと思うと、『お姉ちゃん・・・お姉ちゃん・・・』と泣きじゃくってカッターを捨てた

そして・・・弟は、中学2年が終わるか終わらないくらいに、自殺しました。

遺書はありませんでした。

でも、詩を書いた紙が一枚ありました。

これは私の宝物です。

### 小鳥の夢

籠の小鳥は空をみる

籠の小鳥は夢をみる

ボクは大空飛び回る、あの雀になりたくて

あの自由がほしかった。

いじめなんてないあの空に全てを託したはずだった。。。



（後書き）

あとがき

Rinaです。

これは、私の弟についてをちょっと書いたものです。  
弟はいじめで精神を病んで、自殺しました。

私は弟の痛みが今になってようやく理解できました

『姉失格』確かに近所の人にそういわれました。

でも、弟が亡くなった事は消して無意味ではありません。  
いじめをなくせとは言いません。

でも、少し・ほんの少しでいいから、人を思いやってみませんか・  
・？

それだけで、一つの命を失わずに済むのだから・・・

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4685o/>

---

小鳥の夢

2010年10月23日17時46分発行